

[事前予約制]
ハイブリッド
開催

ちかたがく
地方学の実践プログラム2025
成果報告会

地方学の実践支援プログラム

札幌農学校の2期生である新渡戸稲造は、実学の重視とは現場（地域）重視に他ならないと説き、地方（ちかた）学を提唱し、地方の活力を高める必要性を説いてきました。本支援プログラムは、学生自身の研究や大学での学びを発展的に展開する調査・研究を軸として、北海道の地域や団体と連携しながら、現場で課題解決に取り組む大学院生を支援するプログラムです。



2026年 3月 9日(月)

時間 14:30～17:00

場所 百年記念会館大会議室
& ZOOM

定員 現地参加：30名

お申込方法

参加をご希望の方は、
右のフォームより
お申込みください



締切 2026年3月6日(金)

※ WEBサイトからのお申込みが難しい場合は、

- ・氏名・フリガナ
- ・所属
- ・参加方法（対面/オンライン）
- ・連絡先メールアドレス

を記載の上、
jikatagaku_koubo2 [a] oeic.hokudai.ac.jp
までご連絡をお願いいたします。

プログラム

14:30-14:35 挨拶

阿部 弘 北海道大学 統合URA本部 URA統括・副理事

14:35-16:25 各プロジェクトによる成果報告

報告1 「北海道休廃止鉱山スマートモニタリング方法論の開発プロジェクト」

下川町 伊達市 三笠市

工学院 修士2年 滝澤海斗、修士1年 若江史生、修士1年 板野亮

報告2 「黒毛和牛における周産期アミノ酸給与が母牛および産仔に及ぼす影響」

白老町 環境科学院 修士2年 植原さくら

報告3 「北海道の企業内に複数配置されている企業在籍型ジョブコーチのスキルアップ方策の検討」

教育学院 修士2年 佐藤袖希

報告4 「人口減少下の北海道における生活支援の地域比較—北海道旧産炭地域を事例に—」

歌志内市 岩見沢市 文学院 博士3年 三田絵里加

報告5 「現地調査と気象データを活用した北見市と遠軽町の持続可能なインフラ維持管理に関する研究」

北見市 遠軽町 工学院 修士2年 大内晴貴

報告6 「IoTセンサーを用いた子牛の疾病に関する行動学的解析」

白老町 環境科学院 修士2年 永見秋歩

16:25-17:00 総括と表彰

阿部 弘 北海道大学 統合URA本部 URA統括・副理事

西海 健氏 北海道 総合政策部計画課 科学技術振興担当局長

